

〔様式1〕 平成17年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成17年4月25日		記入者		内線 760-5445
部 名	学校教育部	課 名	相模川自然の村野外体験教室	課長名	望月寛
事務事業名	野外体験教室活動事業				
予算上の事務事業名	野外体験教室活動事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		14123		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します				
基本施策名	第1節 ゆとりある学校教育の創造				事業開始年度
施 策 名	第2施策 小・中学校教育の充実				平成8年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
相模原市立相模川自然の村野外体験教室条例、相模原市立相模川自然の村野外体験教室条例施行規則 相模原市立相模川自然の村野外体験教室運営協議会要綱					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	なし				
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分 施設運営 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象 (誰、何)		
<p>・H8年度当初から、小中学校の教育課程を行うための補完施設として野外体験活動を活発に行ってきた。</p> <p>・昨今の教育現場においては「学力低下論」に象徴される習熟と繰り返しの学習に重点をおく傾向がある。子どもたちの、自分の体や心を働かせて取り組む直接体験は生きる力・学ぶ意欲・表現力などを培ううえで不可欠の要素である。学力は総合的な視野を持った人間を育成することでその本来の力を発揮するものであり、当野外体験活動はそのことに寄与しうる事業である。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校児童生徒 ・青少年団体 ・その他市主催事業 		
(3) 平成16年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。					
<p>・各活動メニューについて主として7人の指導主事が指導する。</p> <p>・専門性を要する活動については一般市民・学生の活動指導者・協力員に依頼する。</p> <p>・活動指導者・協力者登録数・・・指導者38人 協力者73人 計111人</p> <p>・体験活動6分野・・・①科学 ②創造 ③スポーツ等 ④文化 ⑤勤労 ⑥ふれあい体験</p> <p>・児童生徒等活動利用者数・・・①7171 ②7116 ③11210 ④5906 ⑤5360 ⑥16200 (H16年度、延人数)</p> <p>・活動指導者・協力者へのおもな依頼活動・・・バードウォッチング、自然の染物、陶芸、七宝焼き、木工細工、こま作り、インラインローラー、テニス、農業体験など。</p> <p>・若あゆ農業体験クラブなど野外体験教室主催事業計5事業あり。農業体験クラブでは地域の農家の指導を依頼している。年8回実施。参加人数計617人。</p>					
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移 [単位：千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	22,124	20,039	19,959	20,137	20,137
一般財源	22,124	20,039	19,959	20,137	20,137
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	89,194	89,194	89,194	87,503	87,503
事業コスト合計(a)	111,318	109,233	109,153	107,640	107,640
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	野外体験教室活動事業			対象名称(単位)	利用者数(人)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	111,318	109,233	109,153	107,640	109,699
対象数	20,664	22,058	22,009	22,000	22,000
単位あたり経費(円)	5,387	4,952	4,959	4,893	4,986
前年度比		0.92	1.00	0.99	1.02

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	体験活動利用者数（延人数）	指標式と指標の説明		野外体験活動メニューの活用程度。 目標値は活動利用者数合計（自主活動を加算したもの）の75%とした。	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	49,447.0	47,641.0	60,264.0		
目標	51,428.0	48,377.0	55,981.0	60,000.0	65,000.0
目標達成度	0.96	0.98	1.08		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	体験活動指導者・協力者数 (延人数)	指標式と指標の説明		目標＝〔活動利用者数合計×30%（指導者等への依頼割合）×1.2倍（目標値）〕÷30人（指導員等1人当たり受け持ち人数）	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	732.0	701.0	609.0		
目標	594.0	572.0	723.0	1050.0	1100.0
目標達成度	123.2	122.6	84.2		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
★★★★★	[★★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		・学校利用に関して各校の教育課程に基づいたより豊かな体験活動とするため、指導主事の指導・助言的役割をよりいっそう充実する必要がある。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 地域によりいっそう開かれた施設とし、よりゆたかな体験活動のために地域の方々の協力を得るようにしていく。			14 課題として認識されたこと ・予算面での充実。 ・優れた活動指導者・協力者の確保。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		効果的な事業実施を推進する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			